

第114回展観「中国鏡でめぐる神仙世界」出品リスト

名称	法量（cm）	時代	所蔵・収蔵番号
戦国時代の鏡			
青銅 羽状文鏡	径 10.0	戦国	鏡 3
青銅 羽状文地四葉文鏡	径 9.1	戦国	鏡 4
青銅 羽状文地四山字文鏡	径 15.8	戦国	鏡 7
青銅 羽状文地五山字文鏡	径 16.9	戦国	泉屋博古館
青銅 羽状文地四獣文鏡	径 16.8	戦国	鏡 9
青銅 羽状文地変形獣文鏡	径 13.7	戦国	鏡 1005
青銅 羽状文地四鳥文鏡	径 16.1	戦国	鏡 12
青銅 羽状文地方格四獣文鏡	径 13.5	戦国	鏡 19
青銅 雲雷文地連弧文鏡	径 16.4	戦国	鏡 16
青銅 細文地蟠螭樹木文鏡	径 14.0	戦国	泉屋博古館

漢～魏晋南北朝時代の鏡			
青銅 雲雷文地「大楽貴富」四葉四龍文鏡	径 17.0	前漢	鏡 23
青銅 星雲文鏡	径 10.9	前漢	鏡 27
青銅 「見日之光」草葉文鏡	径 14.0	前漢	京都国立博物館
青銅 「鍊冶銅華」連弧文鏡	径 18.3	前漢	京都国立博物館
青銅 「昭明」鏡	径 9.7	前漢	鏡 31
青銅 「長宜子孫」連弧文鏡（内行花文鏡）	径 20.4	後漢	泉屋博古館
青銅 「日光」禽獣文鏡	径 18.0	前漢	鏡 30
青銅 「泰山作」方格規矩四神神獣文鏡	径 22.1	前漢～後漢	和泉市久保惣記念美術館
青銅 「尚方作」方格規矩四神神獣文鏡	径 22.7	前漢～後漢	和泉市久保惣記念美術館
青銅 「西王母東王公」車馬画像鏡	径 21.7	後漢	鏡 39
青銅 仙人四獣文鏡	径 21.5	後漢	和泉市久保惣記念美術館
青銅 方格四獣文鏡	径 17.9	後漢	鏡 38
青銅 「吾作」対鳳文鏡	径 10.3	後漢	鏡 35
青銅 「長宜高官」対鳳文鏡	径 12.1	後漢	鏡 36
青銅 「甘露五年」獣首文鏡	径 16.7	三国・魏（A.D.260年）	鏡 44
青銅 半円方形画文帯環状乳神獣文鏡	径 14.8	後漢	泉屋博古館
青銅 「建安十年」重列神獣文鏡	径 13.1	後漢（A.D.205年）	鏡 42
青銅 「太平元年」半円方形帯神獣文鏡	径 12.1	三国・呉（A.D.256年）	鏡 46
青銅 「宝鼎二年」半円方形帯神獣文鏡	径 12.1	三国・呉（A.D.267年）	鏡 45
青銅 「吾作」半円方形画文帯神獣文鏡	径 20.3	魏晋南北朝～隋	鏡 80
			伝三重県・神前山古墳出土

古墳時代の鏡			
青銅 方格規矩鳥文鏡	径 16.0	古墳	鏡 84
青銅 四龍文鏡	径 13.6	古墳	鏡 88
青銅 三角縁三神三獣文鏡	径 22.1	古墳	鏡 85

隋・唐時代の鏡			
青銅 十二支四神文鏡	径 17.0	隋	鏡 51
青銅 「盤龍麗匣」狻猊文鏡（六狻猊鏡）	径 19.3	隋	泉屋博古館
青銅 十二支走獣文鏡	径 13.5	隋～唐	京都国立博物館
青銅 「仙山並照」团華文鏡	径 21.7	隋～唐	和泉市久保惣記念美術館
青銅 「光流素月」四獣文鏡	径 13.6	隋～唐	鏡 52
青銅 「光流素月」唐草狻猊文鏡	径 14.9	隋～唐	京都国立博物館
青銅 「永徽元年」方格四神文鏡	径 18.5	唐（A.D.650年）	鏡 59
青銅 海獣葡萄文鏡	径 17.1	唐	和泉市久保惣記念美術館
青銅 海獣葡萄文鏡	径 24.2	唐	泉屋博古館

名称	法量（cm）	時代	所蔵・収蔵番号
青銅 宝相華文八稜鏡	径 21.8	唐	鏡 66
青銅 雲龍文八稜鏡	径 20.1	唐	鏡 68
青銅 胡人騎獅子瑞花文八稜鏡	径 28.8	唐	鏡 60
青銅 双鶴対鴻文八花鏡	径 21.8	唐	鏡 64
青銅 花枝文八花鏡	径 28.0	唐	京都国立博物館
青銅 瑞樹文鏡	径 34.2	唐	和泉市久保惣記念美術館
青銅 十二支瑞図仙岳文八花鏡	径 21.9	唐	京都国立博物館
青銅 海磯文鏡	径 14.7	唐	京都国立博物館
青銅 「鳳凰雙鏡」高士弹琴文八花鏡	径 22.4	唐	鏡 65
青銅 「真子飛霜」高士弹琴文鏡	径 20.3	唐	和泉市久保惣記念美術館
青銅 吹簫飛鳳文八花鏡	径 13.2	唐	泉屋博古館
青銅 桂樹月兔文鏡	径 12.1	唐	和泉市久保惣記念美術館
青銅 月宮図鏡	径 21.4	南宋（金）	和泉市久保惣記念美術館
青銅 「煌丕昌天」渡海図八稜鏡	径 17.2	南宋（金）	和泉市久保惣記念美術館

江戸時代における収集と研究			
『泊如斎重修宣和博古図録』		明・万暦 16年（1588） 程士莊 刻本	泉屋博古館
『亦政堂重修宣和博古図録』		明・万暦 31年（1603） 呉万化 刻本 清・乾隆 17年（1752） 黄晞峰 重刊	泉屋博古館
青銅 星雲文鏡	径 15.9	前漢	鏡 25
覚峰「河内金剛輪寺出土資料文書」	28.5 × 40.5	江戸・天明元年（1781）	文書 25
『紀伊国名所図会』三編 「伊都郡 隅田八幡宮」		江戸・天保9年（1838）	黒川図書
松平定信編『集古十種』 「銅器之部」		江戸・寛政 12年（1800）刊 明治再版（郁文舎本）	文書 569
市河米庵『小山林堂書画文房図録』		江戸・嘉永元年（1848）刊	黒川図書

倣古と偽作			
青銅 方格規矩文鏡	径 10.5	後漢	鏡 33
青銅 方格規矩四神文八花鏡	径 14.1	唐	鏡 50
青銅 「蘇州曹家造」方格規矩文鏡	径 8.7	元～明	鏡 72
青銅 方格規矩文鏡	径 13.3	明～清	個人蔵
青銅 方格規矩文鏡	径 13.0	明～清	個人蔵
青銅 方格規矩文鏡	径 11.4	明～清	個人蔵
真鍮 「李」方格規矩文鏡	径 12.8	清	個人蔵
青銅 虺龍鳥文鏡	径 10.2	前漢	鏡 28
青銅 「曹」虺龍鳥文鏡	径 8.3	明～清	個人蔵
青銅 海獣葡萄文鏡	径 20.9	近代	鏡 1002

修復			
青銅 羽状文地四山字文鏡	径 13.8	戦国	鏡 1006
青銅 羽状文地四獣文鏡	径 17.0	戦国	鏡 11
青銅 細文地四鳳連弧文鏡	径 19.4	戦国	鏡 15
青銅 「尚方作」方格規矩四神文鏡	径 18.4	後漢	鏡 1004

参考出品			
四川成都 新繁清白郷1号墓出土		原品：後漢	個人蔵
西王母画像埴 拓本			



中国では戦国時代（紀元前5～前3世紀）に青銅製の鏡が本格的に製作されはじめ、やがて漢時代（前2～後3世紀）になると大流行しました。その背面には当時の人びとが考えていた天地の構造や天上の神仙世界があらわされており、姿見としてだけでなく、儀礼や信仰にかかわる用途があったと推測されます。さらに、唐時代（7～9世紀）にはシルクロードを通じて西方から新たな文様もたらされ、長寿や夫婦円満、多産、富貴の願いを込めて華やかに鏡をいろどりました。

本展観では、所蔵の優品に加えて近隣の美術館・博物館などからも借用を行い、中国の鏡を体系的に紹介するとともに、その背面にあらわされる文様に注目し、それぞれの時代に人びとが思い描いた理想郷を探ります。また、出陳したすべての鏡について、蛍光X線分析による金属組成調査の成果を掲示するなど、これまでとは違った視点で、当時におけるものづくりのありさまや人びとの精神に思いを巡らせていただく展示といたします。

第114回展観

中国鏡でめぐる神仙世界

2015年

10月17日（土）～11月29日（日）

公益財団法人

黒川古文化研究所

〒662-0081 兵庫県西宮市苦楽園三番町1-4-50

【公開研究会案内】

11月8日（日）「高精細画像でみる中国鏡」

【鑑賞講座案内】

11月14日（土）「中国古代銅鏡の神話的宇宙」 曾布川寛

11月21日（土）「江戸時代の人びとがみた中国鏡」 杉本欣久

11月28日（土）「鏡にみる中国と日本の神仙世界」 川見典久

※いずれも午後1時30分より。入館者は聴講無料です。